

一、
總同盟の分裂。日本農民組合の一部脱退。政治研究會の解体等社會日
運動に於ける左右の分野は次第に明白とありつゝあるが、従来中間派
團體として全函組合會議、無産政黨等に重要な地位を占め来り
し自治會に於ては左右の対峙問題に爆発し、去る八月廿一日所謂共
産派と称せらるゝ約一千名の除名問題を惹起するに至つた。
自治會は大正十三年五月の創立に属し、爾來總健主義を標榜し不
断の努力が、郊外電鉄の全部を網羅し組合員約一萬四千人を擁し、又
外には日本交通總聯盟の中堅として重きを占めてゐる。
今その組織を概説する所は、最高決議機關として大會あり、次期大
會迄の代理機關として各支部長、副支部長、本部長を以て構成する。
中央委員會あり、執行機關として中央執行委員會あり、その統制
下に、教育、出版、調査、財務、政治、争議、組織、婦人、救援、の九専
門部委員會がある。又同じく中央執行委員會の下に電車、自動車、
工場、車庫、電力、電燈、電口、軌道、水道、郊外の十部門を置きて各部